



さいたま市議会議員（北区選出）

かわさきてるまさ

川崎照正

さいたま自民党

（さいたま市議会
自由民主党議員団）

市政レポート 令和3年10月号

令和3年9月定例会 川崎照正 市民生活委員会特集

皆様こんにちは。さいたま市議会議員北区選出の川崎照正でございます。まずはじめに、新型コロナウイルスでお亡くなりになりました方々にお悔やみを申し上げますと共に、罹患された方々、被害を受けられた方々にお見舞いを申し上げます。引き続き、一日でも早く終息することを心より願っております。

さて、今回の市政レポートでは、さいたま市議会令和3年9月定例会において、私が副委員長を務めております「市民生活委員会」の特集として主に、地元の皆様からの要望がとても多い「歩行者の安全確保」という問題についてダイジェストにてレポート致します。

また、さいたま市としての様々な新型コロナウイルス感染症対策の新たな施策についても代表的なものをご紹介するほか、地元の皆様からご要望をいただきました案件の進捗等も、ダイジェストにてご報告致します。ぜひ皆様にご一読をいただければ幸いです。幸いです。



市民生活委員会 議案外質問 「歩行者の安全確保について」

●市民生活委員会 川崎照正 質問

歩行者の安全確保を保つには、歩道整備、信号機・横断歩道の設置、カーブミラーの設置、街路灯の設置、安全看板設置、道路標示等、市民の皆様から色々な要望をいただいております。今後さらに「歩行者の安全確保」を推進していく上で、次の3点質問致します。

- 【1点目】全国的にも問題となっています「横断歩道で立っていても車は止まらず、横断できない」という問題について。
- 【2点目】「カーブミラー（道路反射鏡）があることで車両運転者の視界が良くなり、逆に一時停止せずに通過してしまう」という問題について。
- 【3点目】上記の横断歩道や、カーブミラーでは解決されない「車両運転者のモラル向上」をどのように図るかということについて。

●さいたま市 答弁

- 【1点目】埼玉県及び埼玉県警察では歩行者優先及び道路の正しい横断に関する交通ルールについて、ドライバーに対する広報・啓発活動を実施。本市でも埼玉県が作成したKEEP38ステッカー、運転者に対して歩行者が横断歩道を渡る意思を示すハンドサイン励行チラシを配布。
- 【2点目】道路反射鏡（カーブミラー）は、映らない死角があること、映るもののスピード感や距離感が掴みにくい特性がある。道路反射鏡があっても、交通ルールに従い、目視など安全確認の励行などを、広報・啓発活動を通して、交通事故防止の取組を実施。
- 【3点目】交通ルールの遵守や交通マナーの向上は、一人ひとりのモラルの問題であると認識している。今後さらに交通安全意識の向上が図れるよう、警察等と連携し、広報・啓発活動等を実施し、交通事故防止の取組を進める。

